

自己評価点検報告書

学校名 専門学校金沢美専
令和5年3月9日作成

基準1 教育理念・目的・ビジョン

①自己点検評価結果

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

1-1 教育理念について	2022
学校が教育を行う理念が明確に定められているか	4
理念は教職員・学生に周知されているか	4

1-2 教育目的・育成人材像について	2022
学校が教育を行う目的・育成人材像などが明確に定められているか	4
目的・育成人材像を実現するための具体的な計画・方法を持っているか	3
目的は時代、業界、学生のニーズに対応しているか	4
目的・育成人材像は教職員・学生に周知されているか	4
目的は時代の変化に対応しその内容を適宜見直されているか	4

1-3 ビジョンについて	2022
学校の将来構造を描き、3～5年程度先を見据えた中期的構想を抱いているか	3

②現状認識・評価等

学院全体としての理念や教育目的、育成人材像については明確に定められている。
 職業実践専門課程の中での取り組みでも、業界と直結して必要なカリキュラム、人材育成を行っている。
 カリキュラムポリシー、デュプロマ・ポリシーを策定し、育成人材の計画・方法を定めている。
 授業に関してはシラバスを作成し、目的と計画性を持って進めている。
 様々な社会情勢の変化、業界の変化を意識し、今後業界で求められる人材像を教職員で共有し、学生に伝え、指導を行っている
 中長期の目標はあるものの、学校多淫での具体的な計画が不十分

③課題

中長期目標に対する学校単位の具体的な実施計画の策定
 学生の質の変化、専門学校入学前の教育の変化に対応して教育方針の見直しも今後必要になる

④改善方策

学校としての中期計画の立案とそれに向けた年度目標、計画の策定
 小中高の教育の変化の研究、入学してくる学生世代に関する研究の実施、入学してくる学生の特性に関する研究

⑤特記事項

--

基準2 学校運営

①自己点検評価結果

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

2-4 法人運営について	2022
学校の目的、目標に基づき学校運営方針は明確に定められているか	4
学校の目的、目標を達成するための事業計画が定められているか	4
学校は事業計画に沿って運営されているか	4
意志決定システムは確立されているか	3
意志決定プロセスのポイントとなる仕組み（会議等）が制度化されているか	3
意志決定の階層・権限等は明確か	3
業務効率化を図る情報システム化がなされているか	4
学校運営方針はきちんと教職員に明示され伝わっているか	3
学校運営方針を基に、各種諸規定が整備されているか	4

2-4について

②現状認識・評価等

学校の目的、目標を達成するための事業計画が定められており、理事会・評議委員会を経て決定されている。そこから、各職員、各部署に必要なことは明示されている。
年間スケジュールで会議の日程が定められており、会議の運営についてはスムーズに行えているものの、慣れによる形骸化がみられる。組織内の報連相が不十分であり、意思決定に必要な情報が十分に共有されないケースがある。
業務効率化については、業務システムが刷新されたが、まだうまくその機能を使いこなせていない。

③課題

会議間の連動。各校の会議での意見収集と、上層の会議での検討にもっと連動制を持たせるべき。
組織全体として、課題に対して活発に議論する仕組みが必要。そのための日々の報連相の習慣づけ

④改善方策

誰もが意見を出し合える組織風土・仕組みの醸成
必要な情報が必要なところに行きわたるような情報伝達方法の工夫・仕組化、
報連相に対する意識改革と徹底。

⑤特記事項

--

2-5 学校組織について	2022
運営組織はあるか	4
運営組織や意志決定機能は、学校の目的、目標を達成するための効率的なものになっているか	3

2-5について

②現状認識・評価等

運営組織があり、目的・目標を達成するためのものになっている

しかし、部門間でバランスがとれていない部分もあり、取り組みのレベルが部署部署によって異なるものもある。

③課題

組織の部門間連携をとる

部門間の適正とバランスの取れた組織編制

④改善方策

教職員同士が部門の垣根を越えて問題を共有するための仕組みを作り、共同で問題解決にあたり、相互に経験値を高めていく
各々の能力・スキルの適正評価と組織としての業務配分の見直し

⑤特記事項

2-6 財務状況について	2022
主要な財務数値に関する情報とその推移を正確に把握しているか	3
年度予算、中期計画は、目的・目標に照らして有効かつ妥当なものとなっているか	3
予算は計画に従って妥当に執行されているか	3
財務について会計監査が適正に行われているか	4
会計監査を受ける側、実施する側の責任体制、監査の実施スケジュールは妥当なものか	4
私立学校法における財務情報公開の体制整備はできているか	4
私立学校法における財務情報公開の形式は考えられているか	4

2-6について

②現状認識・評価等

財務数値に関する情報は適切に管理されている。
 監事による監査を2ヶ月に1回行っており、不適切事項があれば都度修正している。
 予算を立てる段階で、計画としてかなり厳しい数字になっている。

③課題

組織全体に対して収支を含めた財務的な観点を持たせる。
 財務状況がタイムリーに把握できない

④改善方策

年間の財務状況について各校会議等で報告を実施していく。
 責任者が財務状況をタイムリーに把握できるように財務課と連携する。

⑤特記事項

--

2-7 法令等の遵守について	2022
志願者、学生や卒業生及び教職員等、学校が保有する個人情報に関しその保護のための対策がとられているか	3
個人情報に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	4
法令や専修学校設置基準等が遵守され、適正な運営がなされているか	4
法令や専修学校設置基準等の遵守に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	3
自己点検・自己評価を定期的実施し、問題点の改善に努めているか	4
自己点検・自己評価に関する方針は確立されているか	3
自己点検・自己評価に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか	4
自己点検・自己評価結果を公開しているか	5
自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は確立されているか	4

2-7について

②現状認識・評価等

自己点検・自己評価が実施されており、学校運営の問題点の改善に努めている
法令遵守についてはコンプライアンス委員会の設立もあり以前より意識向上と周知がみられる

③課題

前年度の自己点検の結果を運営がしっかり把握し改善に向けての活動につなげる必要がある。
自己点検の内容の教職員への周知と課題に向けた取り組みの徹底。

④改善方策

年度末の自己点検結果で課題の改善内容を次年度目標に反映し、組織的に改善に取り組む
担当部署ごとに項目を割り振り、課題と改善策を見出す等、担当を設ける。

⑤特記事項

--

基準3 教育活動

①自己点検評価結果

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

3-8 教育目標について	2022
各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに合致しているか	4
各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育機関を勘案して、到達することが可能なレベルとして明確に定められているか	4

3-9 カリキュラムについて	2022
学科のカリキュラムは教育理念、目的達成に向け十分な内容でかつ体系的に編成されているか	4
カリキュラム内容について、業界など外部者の意見を反映しているか	4
カリキュラムを編成する体制は明確になっているか	4

3-10 教科の指導について	2022
学生による授業評価をしているか	4
授業内容の設計や教授法等の現状について、その適否につき学科や学校として把握・評価する体制があるか	3

3-11 学生評価について	2022
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4

3-12 資格試験について	2022
目標とする資格はカリキュラム上で明確になっているか	4
目標とする資格の取得をサポートできる教育内容になっているか	4

②現状認識・評価等

教育目標が定められており、それに基づいたカリキュラムが設定されている。
 職業実践専門課程の中で、カリキュラムには業界等外部者の意見を反映している。
 教務リーダー会を中心に教育の方針や整備が進められている。
 授業の内容についての適否に関しては教務リーダー会で検討され、シラバスに落とし込まれている

③課題

成績評価の方法について基準は設けられているが、特に成績不良者に対する基準をさらに明確にする
 授業の設計方法や教授方法については教員間で研究

④改善方策

成績評価の基準を授業の実態に合わせていくつかのパターンに分け、明確にする。
 成績評価の結果に対するの取り決めをルール化、マニュアル化する。
 学科内で授業の内容、教授方法について研究する。

⑤特記事項

--

基準4 教育成果

①自己点検評価結果

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

4-13 就職率について	2022
就職率（卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率）の向上が図られているか	4
就職成果とその推移に関する情報を明確に把握しているか	4

4-14 資格取得率について	2022
資格取得率の向上が図られているか	4
資格取得者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	4

4-15 退学率について	2022
退学率の低減が図られているか	3
入退学者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	4

4-16 卒業生について	2022
卒業生の社会的活躍及び評価を把握しているか	3

②現状認識・評価等

就職活動については、昨年度より改善されており、就職先についても質の向上と一定の成果を発揮できている。
資格取得に関して、主要なものについては改善がされているが、その他の者については詳細まで周知されていない。
退学者については、学科ごとに対策を検討する必要がある。

③課題

資格取得情報の推移の把握
退学傾向にある学生の早期発見。入学前の用法、入学後のアンケートなどによって特性をつかみ、注意深く見ていく必要がある。
個々の学生の原因分析。対処法の検討。これを担任だけでなく、学科や教務リーダーで共有。
教員の面談スキルの強化。学生の悩みを聞き出し解決に導くための面談の在り方の研究
学生が悩みを相談できる場所・時間の確保
卒業生の活躍及び評価の把握

④改善方策

取得目標資格について、しっかりとした数字を記録する仕組みを作る
教務リーダー会、各校会議で必ず情報の共有をし、対策を担任任せではなく共有しながら対策方針を練り、早い対応を心がける。
教務勉強会において学生対応を共有し、ケーススタディーとしてデータベース化していく
学生が自身の悩みを相談できる場所・時間の提供
卒業生においては、活躍している学生は自然と情報が入るが、そうでない卒業生の情報収集が必要

⑤特記事項

--

基準5 学生支援

①自己点検評価結果

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

5-17 進路対策について	2022
学生の就職・進学指導に関する体制は整備され有効に機能しているか	4
在校生に対し、卒業生を例として特筆すべきものを記述できるか	4
就職に関する説明会を実施しているか	4
就職に関する学生個人相談を実施しているか	4
就職の具体的活動（履歴書の書き方など）に関する指導を実施しているか	4
5-18 福利厚生について	2022
学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され有効に機能しているか	4
奨学金制度が整備され有効に機能しているか	4
学費の分納制度等、学生を経済的に支援する制度が整備され有効に機能しているか	4
遠隔地出身者のための学生寮等、学生への生活環境への支援は行われているか	4
定期的に健康診断を行うなど学生への健康面への支援体制はあるか	4
学生の健康管理を担う組織体制があり有効に機能しているか	4
5-19 学生相談について	2022
学生相談に関する体制は整備され有効に機能しているか	4
学生相談室を開設しているか	3
5-20 課外活動について	2022
スポーツ等のクラブ活動、ボランティア活動その他、課外活動に対する支援体制は整備され有効に機能しているか	3
5-21 保護者との連携について	2022
保護者と適切に連携しているか	4
5-22 卒業生への支援について	2022
同窓会を含め、卒業生をフォローアップする体制が整備され有効に機能しているか	3

②現状認識・評価等

国の就学支援の対象校になるなど学生の経済的支援についても、整備されている
担任制度を採用しており、学生の相談に対応しているものの、学生の多様化により、より複雑な相談案件が出てきている。
コンプライアンス委員会を組織し、学生や保護者からの連絡事項について横断的に問題を解決する仕組みを整備している。
卒業生については、学生の就職活動とも合わせて来校してもらうなどで在校生に活躍を伝えている。

③課題

学生相談室のように、学生が担任以外でも気軽に相談できる場所が必要
卒業生全体の進路が把握できていない。

④改善方策

学生面談は定期的の実施しているが、担任ではない第三者にいつでも相談できる環境を検討していく必要がある。

⑤特記事項

基準6 教育環境

①自己点検評価結果

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

6-23 施設・設備について	2022
施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
施設・設備のメンテナンス体制が整備され有効に機能しているか	3

6-24 学外学習について	2022
学外実習、インターンシップ、海外研修等について外部の関係機関と連携し、十分な教育体制を整備しているか	4
学外実習、インターンシップ、海外研修についてその実績を把握し、教育効果を確認しているか	3

6-25 防災対策について	2022
防災に対する体制は整備され有効に機能しているか	4
災害を引き起こす可能性のある設備・機器等の情報は十分に伝えられているか	4
実習時の事故防止の体制は十分か	4
万が一の災害が起きた場合に備えた保健等の処置は十分なものとなっているか	4
防災訓練を実施しているか	4

6-26 学生の問題行動について	2022
学生の問題行動について対応できているか	3

②現状認識・評価等

施設・設備については一部破損や老朽化が見られ、週全頭が必要な箇所がある。
関係機関と連携し、学外実数を実施している。またその評価を教育に反映している。
コンプライアンス委員会も含めて、学生の問題行動については発覚の際に相談しながら対応している。
防災対策は、避難訓練をもとに、災害時の職員の役割等も毎年見直しがある。

③課題

施設・設備の老朽化等に伴う改修、買い替え予算の確保
社会人になるための前段階として、大人としての考え方を身につけるように指導することが必要。

④改善方策

計画的な予算立案と余剰金の将来的な使途の明確化。ただ余剰を出すだけでなく、将来投資に回せるように計画性を持たせる。
社会的倫理観を植え付けられるよう日々の学生指導を行う。

⑤特記事項

--

基準7 学生の募集と受け入れ

①自己点検評価結果

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

7-27 学生募集広報について	2022
学生募集活動は適正に行われているか	4
学校案内等は、志望者・保護者等の立場に立った分かりやすいものとなっているか	4
志望者等の問い合わせ・相談に対応する体制があるか	4
募集定員を満たす募集活動となっているか	4

7-28 教育成果について	2022
学生募集において、就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍等の教育成果は伝えられているか	4
卒業生の活躍の教育成果が学生募集に貢献したかどうか認識する根拠を持っているか	4

7-29 入学選抜について	2022
入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行われているか	4
入学選考に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	4
学費は教育内容、学生および保護者の負担感等を考慮し、妥当なものとなっているか	3
学費に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	4

②現状認識・評価等

今年度は募集定員を満たす活動ができていた。
卒業生の情報はパンフレットに記載したり、SNSで告知したり、オープンキャンパス等で訴求している。
物価f高の影響を特に教材費の面で強く受けている。

③課題

募集定員達成の継続。ビューティー総合学科については定員の達成。
卒業生の情報の収集方法、定期的な連絡手段の確保
募集における在校生の積極的活用
物価高騰が続くようであればそれに応じた学費徴収ができる仕組みに改めなければならない。

④改善方策

卒業生や在校生による情報発信の活性化
柔軟な学費徴収方法の検討

⑤特記事項

基準8 教職員組織

①自己点検評価結果

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

8-30 教員の組織について	2022
学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているか	3
採用制度は整備されているか	3
教職員の増減に関する情報を明確に把握しているか	3

8-31 人事考査について	2022
人事考査制度は整備されているか	3
昇進・昇格制度は整備されているか	3
賃金制度は整備されているか	4

8-32 専門性について	2022
学科の育成目標に向け授業を行うことができる要件（専門性・人間性・教授力・必要資格等）を備えた教員を確保しているか	3
教員の専門性レベルは業界レベルに十分対応しているか	3
教員の専門性を適宜把握し評価しているか	3
教員の専門性を向上させる研修を行っているか	3
教員の教授力（インストラクションスキル）を適宜把握し評価しているか	3
教員の教授力（インストラクションスキル）を向上させる研修を行っているか	3
教員間（非常勤講師も含めて）で適切に協業しているか	3
非常勤講師の採用基準は明確か	3

8-33 各セクションの連携について	2022
組織の構成員それぞれの職務分掌と責任が明確になっているか	3

②現状認識・評価等

教員の資質向上を目的とした勉強会を開催。各々の考えを共有している。
勉強のための時間が設けられ、教員としてのスキルアップを図る機会が整備されている。
人事考査は行っているが、それがどのように反映されているかが不明確。

③課題

勉強会で検討されたことが具体的な行動として反映されているのか、その効果の測定が難しい。
個々人の課題に対する目標設定と計画的な取り組みには至っていない。
人事考査、評価制度の見直し

④改善方策

学生の授業アンケートとの連動、振り返り、上長による面談の実施。それを毎年度積み上げていく。
個々人の課題に対する年度ごとの目標設定と、具体的な実施計画の策定。
明確な評価制度と人事考査のフィードバック、それが年々構成員にとってレベルアップしていく仕組み

⑤特記事項

--

基準9 社会貢献

①自己点検評価結果

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

9-34 ボランティア活動について	2022
学生のボランティア活動を奨励支援しているか	4
学生のボランティア活動の状況を把握しているか	4

9-35 施設の開放について	2022
広く教育機関、企業・団体および地域との連携・交流を図っているか	4
学校の資源を活用し、生涯学習事業や附帯教育事業を行っているか	4
学校の施設・設備を開放するなど地域社会と連携しているか	4
重要な社会問題について学生や教職員に対し啓発活動を行っているか	4

②現状認識・評価等

企業・団体との連携は意欲的に図っている。
社会問題に関しては、行政からの通達事項を随時告知、チラシ配布で啓発している。
外部イベントで学生のボランティア要請があり、積極的に活動に参加した。

③課題

--

④改善方策

--

⑤特記事項

--